

平成31年度予算要望

無 会 派

森 本 政 直

日本経済は、輸出・生産の伸びは鈍化が予想されるものの、雇用・所得環境の改善による内需の前向きな循環を背景に、2018年度はGDP+1.0%成長を見込んでいる。又、2019年度においても緩やかな景気拡大が予想されるが、消費税率引き上げの影響で+0.7%となる見通しとなっている。

景気の下振れリスクとしては、米国トランプ政権の保護貿易主義を巡る各国との対立、米国の金利上昇に伴う国際金融の混乱、中東・北朝鮮情勢の緊迫化が挙げられる。

このような状況下ではあるが、三田市においては行財政構造改革を行い、健全財政を保つため、早期の歳入に見合った歳出構造として、人口減少局面においても対応可能な財政構造とするため、スクラップアンドビルドを効率的に実行し、歳出の抑制に取り組まれています。引き続き、成熟都市の実現に向け、市のもつ経営資源を最大限有効に活用し、積極的な展開を図っていただくよう期待するところであります。

平成31年度予算編成にあたり、以下の項目について予算要望いたします。

- 1.) 交通不便地域の「地域の足」の確保

- 1.) 市民病院改革プランの推進

- 1.) 災害時市指定避難所の見直し

- 1.) 行財政改革の推進

- 1.) 公共施設・公有財産の適正管理と有効活用

- 1.) 収納対策の強化

- 1.) 地域の特性に合ったまちづくり協議会の確立

- 1.) 人権施策の推進

- 1.) マイナンバーカードの促進

- 1.) 公営墓地の適正管理と販売促進

- 1.) クリーンセンター更新計画の策定

- 1.) 障害・介護関連部署の人員適正配置

- 1.) 三田駅新三田駅相野駅周辺の再開発及び区画整理事業の推進

1.) 道路・公園等の植栽管理の見直し

1.) 農業施設・ため池等の維持管理に伴う補助制度の強化

1.) 市立小中学校の再編の推進

1.) 消防署の女性を含む人員の確保

1.) 上下水道料金の改定